



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.147



岩室村の人口

(6月1日現在) 前月対比

男	4,232人	(+12)
女	4,810人	(-12)
計	9,042人	(0)
世帯数	2,095世帯	(+2)

(住民基本台帳による)

物を節約しよう

飲酒運転をやめよう

奇岩と老松

越後七浦 シーサイドライン



始発点の野積ゲートでのテープカット
村民代表の横山村長(左端)



開通を祝して

岩室村長
横山 喜八郎

地元村民

待望の越後七浦シーサイドラインが、一部開通の運びになりましたことを心からお祝い申し上げます。本道路は、塚田県政において「越後七浦海岸」と命名され、巨県政において建設実施となり、今日の君県政の序盤において約四十億円の巨額を費やし開通の運びとなりました。かつて時代文明に取り残されようとした日本海サイドの開発は、日本海時代の到来を考えると大きな課題であり、弥彦、岩室温泉郷と佐渡

との対岸観光は、本村の自然休養村事業の建設と相まって外来の観光客に対し、「緑と太陽」の安らぎと憩いの場を提供してくれるものと思われまます。景観、自然保護を重点とする建設計画の配慮等、困難を克服し、この事業開通に至る間に関係各位の寄せられたご努力と工事施工各社のご苦労に対し深く謝意を表するとともに、これらを基盤として地域の発展を切望いたしまして、お祝いのごことばといたします。

間瀬住民の歓迎を受けるパレード



六月一日、村民待望の越後七浦シーサイドラインが、また、弥彦山スカイ起点の寺泊町野積浜から間瀬ゲートまで五、三キロの間に開通、前巨知事、衆参両国会議員、県議会議員、地元関係者を来賓に迎え、野積浜ゲートで建設大臣、君知事、巨前知事、寺泊町長、岩室村長が並んでテープカットでスタート、女釜男釜、獅子が鼻、田ノ浦ゲートを経て間瀬住民の開通を祝う小旗を振る歓迎の中を数台の自動車パレード、弥彦山スカイライン岩室ドライブインで開通式が催された。

このシーサイドラインは海岸無雪道路として計画され過疎に悩む沿線住民の生活道路としても活用が期待され、また、弥彦山スカイラインと結ばれており、海と山の立対的回遊コースとして、観光利用が増大される。この区間は海にせり立つ断崖が続く険しい地形であり、県文化財の間瀬枕状溶岩や、本邦北限といわれている貴重なバンクロモンが群生しており、崖松、白岩立岩など自然保護上重要な場所であり、自然景観は素晴らしいものがある。この海岸線は未開地だっただけに魚の釣り場としても最適である。日曜日には、家族つれのマイカー六千数百台が訪られ、海水浴シーズンに入り更に増大することが予想される。